

■平賀讓 造船工学者(技術官僚)。主力戦艦・巡洋艦の設計で世界に知られ、東大総長時には<平賀肅学事件>。
ひらがゆずる
大久保暗殺・1878＝ 東京三田で、広島県人の海軍大主計(主計大尉にあたる)平賀百左衛門の末子次男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 3歳：父の異動に従い、横須賀に移住。

国民之友始・1887＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝11歳：
帝国議会始・1890＝12歳：泰明小学校を卒業し、東京府尋常中学校(府立一中)に入学。

日清戦争始・1894＝16歳：
日清戦争終・1895＝17歳：卒業し、第一高等学校に入学。
白馬会・・・1896＝18歳：

子規句歌革新1898＝20歳：卒業し、東京帝国大学工科大学造船学科に進学。
Bushidou・・・1899＝21歳：海軍造船学生となる。

田中正造直訴1901＝23歳：首席で卒業し、海軍造船中技士(中尉相当)に任官、
海軍砲術の権威の兄平賀徳太郎の影響・指導を受けて戦艦設計を行い、呉海軍工廠・横須賀工廠時代です
に上司の信用絶大で、

日露戦争始・1904＝26歳：日露開戦の直前には{三笠}に乗船して実習。
日露戦争終・1905＝27歳：結婚直後、イギリスのグリニッジ海軍大学校造船科に留学し、

この間、アメリカ・ドイツ・イタリアの造船設計者とも親交し、
アヲヲヲ創刊・1908＝30歳：卒業に際し同大学校長の賞詞を受けて、
伊藤博文暗殺1909＝31歳：帰国。東大講師。

大逆事件判決1911＝33歳：*戦艦{山城}以降、殆ど全ての戦艦・巡洋艦の設計を監督。
明治天皇没・1912＝34歳：講師を辞め、横須賀海軍工廠製図工場長。戦艦{扶桑}が起工、
大正政変・・・1913＝35歳：造船工場長兼務。この年、<シーメンス事件>で八八艦隊計画が頓挫。造船協会で論文発表し、
第一次大戦始1914＝36歳：*当時世界最大級となった戦艦{扶桑}が完成し、
21ヶ条要求・1915＝37歳：造船協会賞牌。

ロシア革命・1917＝39歳：八四艦隊としてようやく予算成立すると、海軍造船大監督となって、これに全面的に関わり、
本格政党内閣1918＝40歳：東大教授を兼任。八六艦隊予算に拡大、戦艦と巡洋戦艦の設計に当たり、
ベルサイユ条約・1919＝41歳：工学博士。制度改正で、海軍造船大佐。
大暴落・・・1920＝42歳：計画主任。日本海軍のシンボルとなった戦艦{陸奥}{長門}を完成させた年、ついに八八艦隊計画の全面実

現をめざす予算が成立したが、
原敬首相暗殺1921＝43歳：<ワシントン会議>で主力艦の保有量が制限されて、既存戦艦の縮減とともに、新造も中絶となったため、
水平社結成・1922＝44歳：海軍少将。少将時代には造船技術者として類のなかった旭日重光章を受ける。
関東大震災・1923＝45歳：高性能の巡洋艦{夕張}を設計・完成後、計画主任を解任され、欧米出張、
護憲三派圧勝1924＝46歳：帰国後、不遇のなか、フランス政府からレジオン・ド・ヌール勲章。摂政官に進講。
治安維持法・1925＝47歳：

円本時代始・1926＝48歳：海軍中將。*さらに巡洋艦{古鷹}も完成し、その高レベルの性能がイギリスの議会で問題となった。昭和天皇を迎えての大観艦式に、世界最大級の空母{赤城}を登場させる。
共産党事件・1928＝50歳：高速艦船の研究に対し帝国学士院賞。

世界恐慌・・・1929＝51歳：金剛代艦私案で本部案と対決。東京で開催された万国工業会造船部会議長。
東大では、海軍委託学生室においてマン=ツ=マンの厳しい指導を行ない、太平洋戦争時の海軍造船官の大部分は彼の門弟で、牧野茂・松本喜太郎らは、日本の造船界の発達の基礎をつくった。

満州事変・・・1931＝53歳：工学部教授を免じられ、予備役。三菱造船技術顧問。
五一五事件・1932＝54歳：東大教授。最も個性的な魅力を持ち、世界の名艦といわれた{鳥海}が完成。
国際連盟脱退1933＝55歳：帝国学士院会員。
帝人疑獄事件1934＝56歳：ロンドンでの国際水槽会議日本代表。天皇に進講。
芥川直木賞始1935＝57歳：前年の会議での論文に対し、イギリス造船学会から金牌。東大工学部長。
二二六事件・1936＝58歳：<ワシントン条約><ロンドン条約>の期限切れで条約を脱退するとともに、日本が巨大戦艦{大和}{武蔵}の建造を開始、

日中戦争始・1937＝59歳：
健保+総動員 1938＝60歳：東大総長に就任。河合栄治郎教授の筆禍事件に際して経済学部内に対立が生じると、
第二次大戦始1939＝61歳：教授会の決定によらず、河合と土方成美教授を処分したため、多くの辞職者を出した<平賀肅学事件>。
大政翼賛会・1940＝62歳：戦艦{武蔵}が完成、
日米開戦・・・1941＝63歳：*最後の仕事の巨艦{大和}が完成、
・・・1942＝64歳：太平洋戦争より戦後にかけて多数の卒業生を出すことになる第二工学部を設けたが、健康を損ね、
創価学会検挙1943＝65歳：肺炎で没した。男爵を授けられ、旭日大綬章追贈。